

令和5年度 名桜大学公開講座報告書

講座名	東屋部川ナイト・カヌー探検
申請者氏名	新垣裕治
講師名 (所属機関)	なぐまさーの会 (カヌーガイド)・新垣裕治 (名桜大学国際学群)
日時	令和5年7月15日 (土) 18:00-20:30
講座の概要 及び所感	<p>コロナ罹患者数が増加傾向になるので、感染防止に気をつけて実施をした。午後6時に集合場所になっている「緑のネットワーク公園」で講座を開始した。なぐまさの会にカヌーの指導、安全管理をして頂いてき、その後に、カヌーの説明、パドリング指導、カヌー操作の説明をして頂いた。今回は、新垣がカヌーに乗りながら、マングローブ等の生物の説明もした。</p> <p>6時半頃から、「なぐまさの会」の皆さんの協力を得て、カヌーを川へ降ろした。参加者全員がカヌーに乗船してから、東屋部川の上流の「白銀橋」へ向かって漕ぎ進めた。初めてカヌーに乗る参加者も多く、初めてのカヌーの感触を満喫している様子であった。途中、河川の生き物の自然解説を聞きながら、また、操船の指導を受けながら「白銀橋」へ漕ぎ進んだ。「白銀橋」の近くの川幅が狭まっている川筋には、マングローブ (メヒルギ) やヒメガマ等の植生等があり、参加者からは、以外にも自然が多いことに驚きがあった。</p> <p>「白銀橋」手前で折り返し、屋部川の下流へ向かって移動をした。下流側のマングローブの繁茂する中州は河川浚渫の為に全てのマングローブが切り払われ、河川管理の在り方について考える機会となった。8時頃にカヌーを降りる場所になっている「ふるじまばし」の袂で下船をして上陸をした。</p> <p>川沿いを上流へ向かい公園を歩きながら、ノートPCで「宇茂佐の森公園」で観察できる動植物の説明を行った。オカヤドカリやオカガニ巣穴、タイワンハブの罟等の観察をした。8時半頃に集合場所の「緑のネットワーク公園」に到着し講座を終えた。7月の開催でサガリバナの開花もし、夜ならではの地域の自然を観察することができた。</p>
参加人数	14名